

岸和田市スマートシティ推進協議会参画企業募集 評価基準

評価項目	配点	評価の視点
(1) 参加資格		
① 提出書類	-	・参加表明書及び企画提案書類に不備がない。
② 提案の適合性	-	・スマートシティ構想及び部会における協議内容に基づく課題感及びサービスイメージ等との整合性が確保されている。
③ 業務実績	-	・「スマートシティ推進に係る実証事業等」、または「自治体 DX の推進に係る取組」等において、2つ以上の実績がある。 ・人口5万人から20万人規模の自治体において、サービス実証実績または実装実績がある。
④ 事業推進力	-	・本市課題解決のため、本市と連携し、提案ソリューション（技術、製品、サービス、システム等を含む）を用いて実証実験の取組を主体的に行える（実施体制含む）。
(2) 企画提案		
① 岸和田市におけるスマートシティへの理解	10	・岸和田市スマートシティ構想及び部会で議論した内容を熟知している ・「岸和田市スマートシティ構想」の推進及び部会の取組（WG 組成後の実証等）に寄与する観点に記載されている
② 本市における地域課題解決に関する適格性	10	・解決しようとしている課題が、市職員が抱えている課題感等と一致している ・提案された事業の推進が岸和田市における課題解決に資する根拠が明確化されている
③ 実行性・実現可能性	20	・実証・実装にあたって、事業者がリーダーシップを発揮しながら事業を行う内容となっている ・想定される事業の成果が明確に示されている ・想定されるリスクに関して具体的な言及があり、翌年度以降も確実な実施・運営が見込める内容である ・多様なステークホルダー（市民等）が参画する仕組みが記載されている
④ 事業推進に係る費用	30	・資金的持続性を確保した提案内容といえる ・事業費を低減するための具体的な工夫が記載されている ・事業者の自己負担分の支出見込み及び運用資金に関する考え方が、岸和田市に配慮したものである（市の負担が極力少ない設定にされている）
⑤ 提案内容の発展性・汎用性・将来性	20	・実証実験及び実装内容は、分野間・地域間におけるデータやサービスの接続、相互流通（特に、ORDEN、my door OSAKA）との連携）を可能とするものである ・実証実験及び実装に用いる製品、システム及びサービスは今後の調達・運用時における選択肢を過度に狭めないものといえる ・提案されたサービス等は、少なくとも5年間は持続性が見込まれる
⑥ 追加提案	10	・追加提案によって既存サービス（及び既存事業）の発展性がイメージできる ・追加提案の内容は提案ソリューションや機能の拡張に関して容易性がある

	⑦	ヒアリングにおける説明能力 (ヒアリング実施時評価)	20	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な課題設定がなされており、理論展開や結論までの流れに筋が通っている ・事業者の提案における各主張に関して根拠の提示ができています ・ヒアリングを通して岸和田市にとって有益な情報が提供されている(実証における市の費用負担の限度を理解している) ・リーダーシップを発揮し主体的かつ自立的に事業を推進する姿勢がみられる
合計			120	

・事前審査では、「(1) 参加資格」及び「(2) 企画提案」の①～⑥について事務局で評価し、本審査では、「(2) 企画提案」の①～⑥及び⑦について、委員の評価を平均したものを合計し評価点とする。

・評価点は小数点第二位を切り捨てる。